

# 第38回 鳥取市交響楽団 定期演奏会



湯淺いづみ  
ヴァイオリニスト  
Yumi Ueda

ジャン・シベリウス  
交響詩「フィンランディア」op.26

W.A.モーツアルト  
ヴァイオリンとヴィオラのための  
協奏交響曲 K.364

独奏／湯浅いづみVn 棚橋恭子Vla

ヨハネス・ブラームス  
交響曲第4番 ホ短調 op.98



棚橋恭子  
ヴァイオラ奏者  
Keiko Hashimoto

指揮  
東京オペラプロデュース指揮者  
桜美林大学非常勤講師  
高野秀峰



管弦楽 鳥取市交響楽団



2016年10月16日(日)

鳥取市民会館大ホール  
14:00開演 (13:30開場)

全自由席：一般 1,500円 (当日 2,000円)

高校生以下 500円 (当日 1,000円) 未就学児無料

主催：鳥取市交響楽団

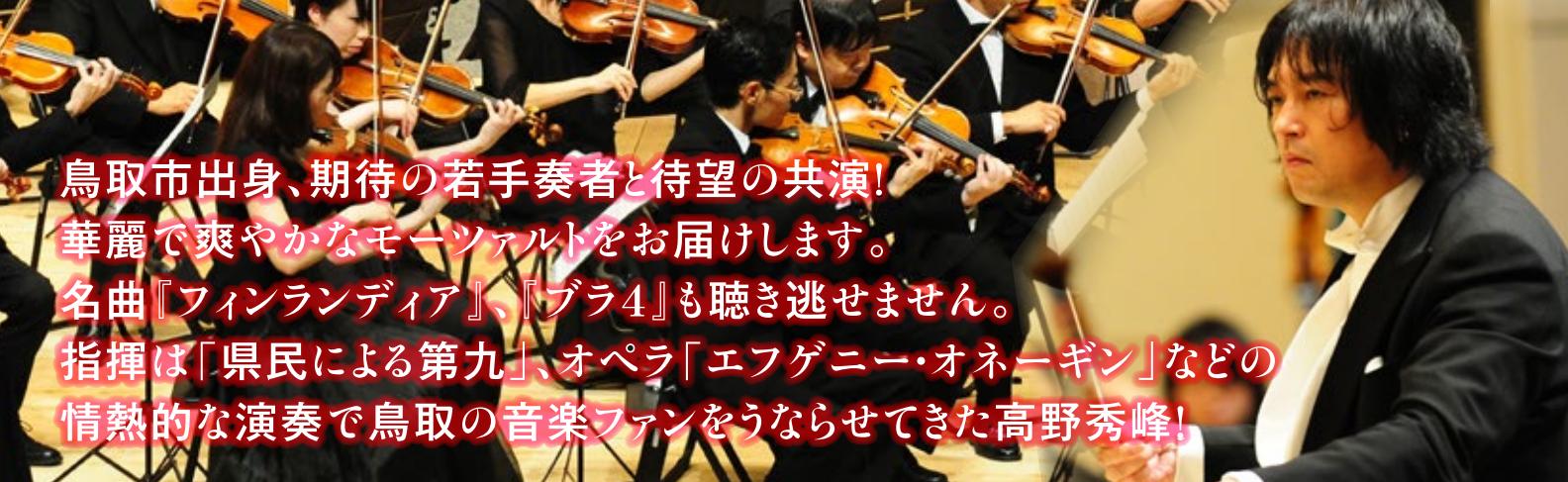
後援：鳥取市教育委員会、鳥取市文化団体協議会、朝日新聞鳥取総局、  
山陰中央新報社、産経新聞鳥取支局、新日本海新聞社、中国新聞鳥取支局、  
毎日新聞鳥取支局、読売新聞鳥取支局、TSK山陰中央テレビ、BSS山陰放送、  
日本海テレビ、いなばぴょんぴょんネット、日本海ケーブルネットワーク

鳥取市民文化祭参加

**プレイガイド** 鳥取市民会館、とりぎん文化会館、鳥取市文化センター、  
アコヤ楽器店、トスク本店、鳥取大丸、今井書店 (吉成店、湖山店)

**お問い合わせ** 鳥取市交響楽団事務局長 井上拓也  
電話 090-4807-1339 takuinou@gmail.com

**無料託児サービスあり** 前日までに電話 090-1594-3486 (加藤) まで



鳥取市出身、期待の若手奏者と待望の共演!  
華麗で爽やかなモーツアルトをお届けします。  
名曲『フィンランディア』、『ブラ4』も聴き逃せません。  
指揮は「県民による第九」、オペラ「エフゲニー・オネーギン」などの  
情熱的な演奏で鳥取の音楽ファンをうならせてきた高野秀峰!

## 交響詩『フィンランディア』 op.26

シベリウス

フィンランドの作曲家シベリウスの作品の中でも最も有名な作品。作曲された1899年当時、フィンランドは帝政ロシアの圧政に苦しんでいたが、この曲が愛国心を呼び覚ますとして、演奏禁止とされたことは有名なエピソードである。中間部の讃美歌のような美しい旋律は、フィンランドの第2の国歌とも言われる。

\*

## ヴァイオリンとヴィオラのための 協奏交響曲 変ホ長調 K.364

モーツアルト

23歳のモーツアルトが、当時パリで流行していたスタイルで書いた作品。華麗に飛翔するヴァイオリン、深い世界を表現するヴィオラという楽器の特性をうまく使い分け、華やかながらもどこか陰影を帯びた深い芸術性を秘めた名曲。明るく爽快とした第一楽章、心の深い悲しみが感じられる第2楽章、快速テンポでスリリングに疾走するフィナーレ。

\*

## 交響曲第4番 ホ短調 op.98

ブラームス

ドイツの大作曲家ブラームスの最後の交響曲。古い様式に独創性とロマン性を盛り込み、自身が「最高傑作」と述べたと言われる。ヴァイオリンによるため息のようなメロディーで始まり哀愁と情熱が次第に高揚する第1楽章から、管楽器による緊張感のあるテーマが多彩に変奏されドラマチックな終結を迎える第4楽章まで、ブラームスの天才的な作曲技法に驚嘆させられる。



ヴァイオリン  
湯淺いづみ



ビオラ  
棚橋恭子



指揮  
高野秀峰

鳥取市出身。鳥取市立北中学校卒業。3歳よりヴァイオリンを始める。岡山県作陽高等学校音楽科に実技特待生として入学。作陽高等学校在学中、学内選抜オーディションによる定期演奏会にソリストとして3年連続出演。ロームミュージックファンデーション主催による京都国際学生音楽フェスティバル2014に参加。第8回ベーテン音楽コンクール全国大会一般の部第一位受賞。サントリーホールブルーローズにて受賞者記念演奏会に出演。第3回鳥取県クラシックアーティストオーディション優秀賞受賞。現在、鳥取県を中心に演奏活動や後進の指導に当たっている。これまでにヴァイオリンを山川はるみ、井上民恵、入江洋文、白石禮子の各氏に師事。

鳥取市出身。鳥取県立鳥取東高等学校卒業。愛知県立芸術大学音楽学部器楽専攻卒業。小澤征爾音楽塾オペラプロジェクト、オーケストラプロジェクト出演。サイトウ・キネンフェスティバル『若い人のための室内楽勉強会』参加。鳥取県クラシックアーティストオーディションにて優秀賞受賞。大阪国際室内楽コンクール入賞。日本を代表する演奏家を鳥取に招いての自主企画コンサートを年間幾度も開催。現在、東京と鳥取を拠点とし、オーケストラ、室内楽、レコーディングなど幅広く活動するかたわら、小中高校などへの訪問演奏、個人レッスンなど、後進の指導にもあたる。これまでにヴァイオリンを井上民恵、ヴィオラを馬渕昌子、百武由紀、C・ルローン、井野邊大輔の各氏に師事。ヴィオラ四重奏団 Alto de Campagne、長野市芸術館ナガノ・チェンバー・オーケストラ(NCO)メンバー。

東京生まれ 明治学院大学及び武蔵野音楽大学卒業。作曲を鈴木輝昭、指揮をクルト・レーデル、ステファノ・マストランジェロの各氏に学ぶ。2001年にチェコ国立モラヴィア・フィルハーモニーを指揮し、ヨーロッパにデビュー。新国立劇場の副指揮者を経て、東京シティフィルハーモニック管弦楽団、東京オペラプロデュース、オーケストラ・アンサンブル・トウキョウなどを指揮している。桜美林大学芸術文化群講師、日本作曲家協議会会員。東京芸術財団音楽顧問。鳥取市交響楽団の定期演奏会で、2009年以来毎年客演を務めている。今年12月の「県民による第九鳥取公演」の名演も期待されている。

## 演 奏 鳥取市交響楽団

鳥取県東部で活動するアマチュアオーケストラ。1976年に発足。年1回の定期演奏会のほか、「県民による第九公演」のオーケストラ演奏も担う。地域のオーケストラとして、鳥取在住のソリスト・音楽家との共演や、地域の音楽イベントへの出演等にも積極的に取り組んでいる。団長／上萬雅洋 コンサートマスター／久保田昌平 団員60名